

脱して、交通労働総聯盟に加盟したる、その力敢て妥當なる態度に對し吾等日清艦の敬意を表したのであつた、諸君の中、部地より於ける労働運動の便余は、實に重大であつて、吾等は諸君の前途が、取し健全に展開しつゝ、あることを喜ぶものである。願くは諸君は共產黨一派の惡辣なる流言に乗せられぬこと、如何なる攪亂策に對して断乎たる排撃的態度を取り、而して我が交通総聯盟の空言、綱領を確守し、あくまゝに健全なる旗幟の下に、勇往邁進せんことを切望して止まずいのである。

日本交通労働総聯盟

五、

被除名派は八月二十三日藤田門支部に於て反對大會を開き、分裂反對同盟の名の下に我々の血と汗との結晶たる本部費は何も費消されたかと云ふ見出の下に、(一)向故自動車部は會費を滞納したか、(二)本部費がかくして費消された、(三)醜類の不正は白日の下に暴露された、(四)其の後本部の會計は廓清されたが、の四項に亘り本部幹部の墮落醜行摘発に全文を埋むる声明書を發表し、本部を三の輪に回す、金支部に對し諒解運動に力めつゝあつた。

然るに九月下旬に至るや自治會内部に内訌反對革新同盟の組織あり本部に對し左右問題を超越し自治會日本来の面目に立還らべしと強硬に主張し和解を前望車課長和田某に一任せよと提議するに至り、本部は十月十日の執行委員會に於て之れを承認したるも反對同盟側は回答躊躇の色ありしを後前記和田と懇話する福田某を介して妥協の意を洩したれば和田は十月二十六日虎の門ビルゲンゲに兩者の集合を求め、自治會日の設立精神を高調し、殊に本年度大會の決議に基く待遇改善要求計画